

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2019.2.1

No.176



**平成30年市議会第4回定例会**  
補正後総額220億976万円の  
一般会計補正予算案などを可決

**常任委員会委員で  
市内現地視察を実施**

平成31年美濃加茂市消防出初式

## 主な内容

- ◆定例会の審議結果 ……2・3P
- ◆委員会審査の概要  
文教民生常任委員会 ……4P  
企画建設常任委員会 ……5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁  
……………6～13P
- ◆議会日誌 ……13P
- ◆議会改革特別委員会の設置  
議会を傍聴しました  
可決された意見書……………14P
- ◆活動ピックアップ……………15P
- ◆活動ピックアップ  
お知らせ ……16P

## 定例会の審議結果

平成30年

第4回

# 定例会

補正後総額220億976万円の一般会計補正予算案などを可決

市議会第4回定例会は、11月30日に開会し、12月20日までの会期21日間で開催しました。

初日は、17議案を上程し、提案説明を行い、議第75号については、質疑、採決まで行い、選第5号については、指名推選により、市長が当選しました。

12月10日、11日は、14人の議員が一般質問を行いました。

12月12日には、各議案に対する質疑・委員会付託を行いました。付託された各議案の審査のため、12月13日に文教民生常任委員会、14日に企画建設常任委員会を開催しました。

12月20日には、各議案に対する委員長報告・討論、採決の後、議第76号を追加上程・採決し、定例会を閉会しました。

## 議案 クローズアップ CLOSE-UP

### 議第61号 美濃加茂市のぞみ教室の設置及び管理に関する条例

#### 議案の概要

日本語指導が必要な児童生徒に対して、学校生活に必要な生活指導及び初期的な日本語の指導を一定期間集中的に行う「美濃加茂市のぞみ教室」を、古井小学校敷地内に新しく設置するため、条例を制定するもの。



古井小学校体育館内から古井小学校敷地内に専用の平屋を建てて移行。  
平成31年1月に新施設を開設。



定員を25名から40名に拡充。  
全体指導や個別指導を通して学んでいる。

### 議第67号 平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)

#### 議案の概要

3億3,500万4千円の増額補正  
補正内容の一部

#### ○文化会館施設管理事業(270万円)

平成31年度から予定している耐震及び天井工事について、ホールの客席改修(現在、並列の座席配置になっているものを、1列ずつ交互にすることで、前列の人の頭が重ならないようにするもの)及び事務所棟のトイレ改修を併せて実施することとしたため、平成30年度中に設計を行うもの。



改修後のホールの客席イメージ図

定例会の審議結果

議案等の審議結果

全会一致で可決された議案等

議案番号	議案名	主な内容
議第59号	美濃加茂市健康診査等手数料条例について	市が実施する健康診査及び検診について、これまで実費により徴収してきたものを手数料として整理したため、条例を制定するもの
議第60号	美濃加茂市工場立地法に基づく準則を定める条例について	製造業等の特定工場が整備すべき緑地等の割合について、国の基準より緩和した基準を定めるため、条例を制定するもの
議第61号	美濃加茂市のぞみ教室の設置及び管理に関する条例について	詳細は2ページ
議第64号	美濃加茂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年の人事院勧告により一般職の国家公務員の給与改定及び給与制度の総合的見直しの実施の勧告をされたことから、この勧告に基づき、給料表の改正と勤勉手当の引き上げ等、所要の改正を行うもの
議第65号	美濃加茂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準じて一般職の任期付職員の給料表の水準を引き上げる等、所要の改正を行うもの
議第66号	美濃加茂市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	水道法施行令及び技術士法施行規則が平成31年4月1日付けで改正されることに伴い、所要の改正を行うもの
議第67号	平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第8号）	3億3,500万4千円の増額、予算総額は220億976万円 岐阜県議会議員選挙に係る事務経費、国民年金システムの改修費、スカイロード2号線築造工事の地盤改良費用（追加分）、消防施設整備事業、牧野交流センター空調機器の取替工事、文化会館施設管理事業（詳細は2ページ）などによる増額補正
議第68号	平成30年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第2号）	2,465万5千円の増額、予算総額は52億8,882万3千円 人事院勧告による給与改定及び人事異動等に伴う増額補正
議第69号	平成30年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	713万円の減額、予算総額は42億3,649万2千円 人事院勧告による給与改定及び人事異動等に伴う減額補正
議第70号	指定管理者の指定について	太田宿中山道会館の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの
議第71号	指定管理者の指定について	美濃加茂市障害者支援施設ひまわりの家の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの
議第72号	市道路線の廃止について	市道信友271号線ほか6路線の廃止
議第73号	市道路線の認定について	市道前平516号線ほか2路線の認定
議第74号	損害賠償の額を定めることについて	地方自治法第96条第1項第13号の規定に基づく損害賠償の額の決定
議第75号	議会改革特別委員会の設置について	特別委員会を設置するもの（詳細は14ページ）
議第76号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書について	精神障がい者についても、身体障がい者や知的障がい者と同等の運賃割引制度が適用されるよう、公共交通事業者に対して働きかけを行うなど、必要な措置を講じられるよう国へ求めるもの（全文は14ページ）
選第5号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項の規定により選挙を行うもの（伊藤誠一市長 当選）

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			永田 徳男	田口 智子	坂井 文好	酒向 信幸	渡辺 孝男	牧田 秀憲	渡辺 義昌	村瀬 正樹	高井 厚	前田 孝	金井 文敏	柘植 宏一	片桐 美良	森 弓子	森 厚夫	山田 栄	
議第62号	美濃加茂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 平成30年の人事院勧告を受けた国家公務員の一般職及び特別職の給与改定に準じて市議会議員の期末手当を引き上げるため、条例を改正するもの	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 平成30年の人事院勧告を受けた国家公務員の一般職及び特別職の給与改定に準じて常勤の特別職職員の期末手当を引き上げるため、条例を改正するもの	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 委員会審査の概要

# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《》は議案名、◆は主な内容、（）は補正金額。

### ○ 文教民生常任委員会

#### 《市健康診査等手数料条例》

◆市民の健康の保持増進、疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣の改善を目的として、市が実施する健康診査等について、これまで実費により徴収してきたものを、手数料として整理するもの。

問 実費により徴収してきたものを、手数料として整理したことによる変更点は。

答 今までは、健康診査等の健診単価における一部負担を、実費という形で徴収してきた。今回の条例制定により、実費を手数料として整理することとなったが、内容は今までと同じである。



文化会館会場での健診

《市のぞみ教室の設置及び管理に関する条例》

#### ◆2ページ参照

問 のぞみ教室の休業日を利用して、学童保育などの利用ができないか。

答 のぞみ教室の建設に当たっては、県の多文化共生推進補助金を活用しているため、外国人児童生徒の日本語指導のための利用という制限があり、それ以外の利用はできない。

問 のぞみ教室の児童生徒が、公立の小中学校での学校生活に適應できるとい判断は、どのようにされるのか。

答 基本的に3カ月間から6カ月間で、学校での学習や生活に必要な日本語及び日本の生活様式に十分対応できるようにしたと判断した場合に、卒業することとしている。

問 対象者は、市内に住所を有する日本語指導が必要な児童生徒であるが、のぞみ教室から遠方に住んでいる対象者がいた場合、通学の支援があるのか。

答 現在は、ワゴン車により、送迎の支援をしている。

問 外国人の不就学児童の存在を、把握できているのか。

答 公立の小中学校を希望されず、他の外国人学校等に通っている児童数については、把握することが困難である。

問 利用の制限は、どのような場合を想定しているのか。

答 学校保健安全法に定められている感染症にかかった場合や、学校教育法に定められている出席停止の処置の場合を想定している。

《平成30年度市一般会計補正予算(第8号)》

◆自立支援費給付事業(7,000万円)

#### 問 事業の内容は。

答 放課後等デイサービス、生活介護、就労継続支援A型、短期入所それぞれサービスのが、当初よりも多く見込まれるためである。

◆文化会館のホール客席及び事務所棟トイレの改修設計(270万円)

#### 問 設計の内容は。

答 ホール客席については、現在、並列の座席配置になっているが、下側半分の部分を、1列ずつ交互にすることで、前列の人の頭が重ならないようにするものである。また、トイレについては、事務所棟の1階から3階までの男女のトイレ各1カ所

を洋式化するものである。

◆牧野交流センター空調機器取替(90万1千円)

#### 問 工事の概要は。

答 事務所の隣にある、通称「明笑サロン」という部屋の空調機器が壊れており、使用できないため、取替工事を行うものである。



明笑サロン

### 陳情

《精神障がい者の交通費に関する意見書提出のお願い》

・公共交通機関の運賃割引制度の適用について、精神障がい者も、身体障がい者や知的障がい者と同じ取り扱いとするべきであるとの観点から採択すべきであり、国に意見書を提出することを決定した。

※全文は14ページ

## 委員会審査の概要

### ○ 企画建設常任委員会

《市工場立地法に基づく準則を定める条例》

◆工場立地法第4条の2第1項の規定に基づいて、国の基準内で、市の準則を定めることによつて、敷地面積が、9,000㎡以上、または、建築面積が、3,000㎡以上となる工場において、その敷地面積に対する緑地等の面積率を緩和すること、設備投資等の拡大を促進し、安定した雇用の創出と地域の活性化を図るもの。

問 緑地等の敷地面積に対する割合を、国の定める準則と比べて緩和した理由は。

答 工場敷地の有効活用のため、また、設備投資の拡大、新たな企業の進出、安定した雇用を確保するため、改定するものである。

問 第7条の地域活性化への寄与について、具体的な数値を示すのか。

答 数値では示さないが、あくまでも市として、地域への配慮、貢献をお願いするため規定した。



《市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例》

◆平成30年の人事院勧告を受けた、国家公務員の一般職及び特別職の職員の給与改定に準じて、市議会議員の期末手当を引き上げるもの。

問 具体的な引き上げ金額は。

答 約2万2,000円で、今回の改選で新たに議員になられた方は、約6,500円である。

《市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例》

◆平成30年の人事院勧告を受けた、国家公務員の一般職及び特別職の職員の給与改定に準じて、市長、副市長及び教育長の期末手当を引き上げるもの。

問 具体的な引き上げ金額は。

答 市長が約5万2,000円、副市長が約4万3,500円、教育長が約3万9,000円である。

《市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例》

◆平成30年の人事院勧告において、民間給与との格差解消のため、一般職の国家公務員の給料水準の引き上げと、ボーナスの支給割合の引き上げが勧告されたため、この勧告に基づき、給料表の改正と勤勉手当の引き上げ等、所要の改正を行うもの。

問 第14条の自己負担が発生する事業とは何か。

答 職員の自己負担金について、給与から差し引くことができる項目を追加するものであり、例えば、職員の健康診断で、オプションを希望した場合の自己負担金を、給与から差し引くことなどが考えられる。

《一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例》

◆平成30年の人事院勧告に基づき、任期付職員の給料表の水準を引き上げる等、所要の改正を行うもの。

問 対象となる職員はいるのか。

答 防災安全課の地域防災マネージャー、まちづくり課のまちづくりコーディネーターが対象である。

《平成30年度市一般会計補正予算(第8号)》

◆総合行政システム事業(1,630万円)

問 今回、補正予算で全てのシステムの元号改正対応が完了するのか。

答 38あるシステムのうち、そのうち35業務に影響があり、全て改正対応する。

◆消防施設整備事業(120万8千円)

問 消防訓練所の整備設計の内容は。

答 牧野ふれあい広場の駐車場として、計画されている場所を、併せて消防団の操法大会用の訓練場として、利用できるようにするものであり、事業費は約4,000万円である。

問 アスファルトで整備するのか。

答 県の大会会場が変わる可能性があるあり、全てをアスファルトにするかどうか、詳細については検討していく。

《市道路線の廃止》

◆下米田町信友字天神洞地内にあつる7路線を廃止するもの。

問 廃止以降の流れは。

答 天神洞エリア全体の開発に併せて市道認定し、廃止路線の土地については、払い下げ等の手続を今後進めていく。

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

美濃加茂市議会  
ホームページ



<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

閲覧方法

トップページ >> 本会議と審議の結果

>>> 平成30年 第4回定例会

市政一般に対する質問と答弁

# 市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登場し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



高井厚議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継

■視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名から選ぶ](#) ▶ [平成30年第4回定例会](#) ▶

▶ 12月10日または11日 市政一般に対する質問

■会議録検索システム <http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



森 弓子 議員

## あい愛バス

問 「むくの木・そうきち線」において、下米田町内を回る時間が長い上に、医療機関へのアクセスが悪いと考えるが、改良できないか。

答 乗り換えをすることでそれぞれの目的地に行くことが、可能となっており、利便性は高いと思う。木沢病院や市役所などへ向かう路線の延長は、少しでも早く美濃太田駅に行きたいお客様の要望には反することになる。所要時間もオーバーしているので変更できない。

## メディカルシティ構想

問 社会医療法人厚生会の（仮称）中部国際医療センター（10階建ての入院棟、3階建ての外来棟など52,000㎡）が、契約が整えば、2019年8月に着工される、との報道があったが、市の保健センターの進め方は、どのようになっているか。

答 市保健センターは、その病院棟の北側に付随して建設予定の3

階建ての建物を、市民交流施設として位置づけ、その1階、2階の一部を間借りする形で協議、検討している。（仮称）中部国際医療センターは、医療機関だけではなく、他業種を呼び集め地域の活性化をもたらす、コンパクトシティの中の医療エリアを担う位置づけになるものと考えている。そのエリアには、市民交流施設を建設して、医療と健康づくりが融合した交流の場を目指し、予防医療の視点で今までにない試みを、厚生会と一緒に展開していきたい。



（仮称）中部国際医療センターのイメージ図

## 消防強化プラン

問 救急車の出勤回数が多い「山分遣所」の格上げ等の進捗状況は。

答 可茂消防事務組合によると、18名を配置した分署に格上げし、移転先は、下米田町今交差点付近で、平成30年度中に基本設計・詳細設計及び地元説明会を行い、2020年4月に開署予定である。

市政一般に対する質問と答弁



山田 栄 議員

防災避難施設

**問** 本市のハザードマップに記載のある木曾川浸水想定区域内で洪水により発災した場合に第二次避難施設にならない避難施設（太田小、プラザちゅうたい、古井第二保育園、文化会館）周辺の地域住民の避難方法、避難施設の考えは。

**答** 浸水が予想され避難を促す際は、「避難準備・高齢者等避難開始」などの情報を順次発令する。避難の際には、徒歩や車を利用し、ご自身で、あるいは地域の皆さんと協力して、早めに浸水想定区域外の西中学校、山手小学校、総合福祉会館などの避難施設に避難していただきたい。

**問** 浸水想定区域図内の4つの避難施設の収容可能人員数は、合計で1,000人、第一次避難施設（生涯学習センター）の150人を加えると高齢化が進む市街地エリアは、1,150人と計画されている。収容可能人員数の検討が必要と思うがその考えは。

**答** 避難所の収容人員の算定は、

岐阜県避難所運営マニュアルによると、1人当たりの最低限の占有面積2㎡を確保することが望ましいとされており、発災当初の避難所の算定は、受け入れ施設の床面積を割り戻して算定している。

**問** 民間建物を避難施設として活用する考えは。

**答** 居住地から近くで避難する施設があれば高齢者の負担も軽くなると考えられることから、建物の耐震性、安全性も確認しながら民間施設等の活用も検討したい。

坪内逍遙博士関連事業

**問** 記念館建設の考えは。

**答** 各課と連携した顕彰事業や、坪内逍遙顕彰会が行う事業等を併せて展開し、市民の記念館建設に向けての機運が高まった段階で、建設計画を進めていきたい。

**問** 本市が保有する坪内逍遙博士に関する資料は。

**答** 資料は、坪内逍遙博士直筆の書画、葉書、手紙、そして遺品や著書、関連書籍、パンフレットなど893件を保有している。



坪内逍遙イラスト



柘植宏一 議員

市長が目指す健康都市

**問** その将来像と第6次総合計画との関係は。

**答** 身体の健康にとどまらず、こころの健康、社会的にも健康であることが重要と考える。市民自らが健康づくり意識を持って取り組む、地域の中で相互に協力し合い高めるとある、そして行政として市民ニーズを把握し、健康づくりのきっかけや継続できる環境を整備したり、情報を発信したりするといった自助、互助、公助がバランスよく行われ、干渉し過ぎずほどよい関係の中で、お互いを尊重できる仕組みづくりが大切である。新総合計画においても、将来のまちづくりビジョンを描く上で主要なテーマとして位置付け、その実現に向けた各種政策・施策を展開していく考えである。

古井地区の課題

**問** まちづくり協議会設置準備の進捗状況と課題は。

**答** 平成29年5月から毎月1回のペースで座談会を開催し、地域の

魅力や課題等について意見交換をしてきたが、現時点で組織設立に向け、具体的な段階には至っていない。今後は、研修会の開催等、まちづくり活動への働きかけを積極的に行うとともに、地域で様々な活動をされている方々や団体との意見交換をする機会を設け、組織づくりにつなげていきたい。

**問** 下古井交流センター除却後のセンター機能確保はどうなっているか。

**答** 地域の文化歴史を守る拠点として、防災、子育てなどの地域課題の解決のためにコミュニケーションセンターの整備は絶対必要であり、新たな保育園の複合施設化の中で十分検討していきたい。

**問** 山手小学校北の複合商業施設開業に伴う事業者と地元自治会との協議会設置の考えは。

**答** 交通安全対策や周辺環境等のトラブルを解決することは、個々の事業者では限界があると考えている。そのため、開発事業者や地元自治会が協働で課題解決をする協議会の設置は、大変有意義であると認識しており、市としても開発事業者に対して協議会の設置を促していく。

市政一般に対する質問と答弁



**渡辺孝男**  
議員

**障害者雇用促進法に定めている本市の法定雇用人数**

**問** 障害者雇用促進法で法定雇用率が定められているが、本市の雇用人数は何人か。

**答** 市の法定雇用率は2・5%であり、雇用すべき人数は12・5人である。障がい程度や労働時間により算定の取り扱いが決められており、本市の障がい者数を算定した場合には、12・5人となり、本市の障がい者実雇用率は2・5%となるため、法定雇用率の2・5%を上回っている。

**リバーポートパーク（中之島公園）**

**問** リバーポートパークの駐車場が少ないと思うが、市として駐車場整備計画はあるか。

**答** 公園利用者から「駐車場が少ない」という意見を伺うことがあり、市としても駐車場不足の解消は必要と考えている。今後の新たな駐車場の整備については、駐車場専用でなく多目的な場として活用できるよう、メイン駐車場北側の土地を検討し、来年度から段階

的に整備を進める。

**問** リバーポートパーク東側の森に、キャンプ場を復活させてはと思うが、市の考えは。

**答** 公園利用者からは「公園の森でキャンプができる」と良いという提案もいただいている。キャンプ場復活の提案は、市としても新たに公園の魅力がアップする方策の一つと考えているが、安全性や環境衛生面を考慮した施設整備、運営管理手法、関係者との協議調整など、いろいろな課題があるため、実施に向けて今後研究していく。

**登下校時の子どもの安全確保**

**問** 安全確保につなげる通学路の緊急合同点検が必要と思うが、市の考えは。

**答** 通学路の防犯の観点による緊急合同点検は、例年行っているが今回はさらに強化し、学校、加茂警察署、可茂土木事務所、美濃加茂国道維持出張所、市の防災安全課、土木課及び教育委員会と道路状況、死角、街灯の有無、草木等多岐にわたって行っている。その結果、73カ所の危険箇所、要注意箇所を指摘し対応する組織を決め、現在対処している。



**酒向信幸**  
議員

**空き家対策**

**問** 空き家の有効活用として空き家バンク制度がある。本市は、平成30年3月に空き家バンクを設立し運用がスタートした。所有者・利用者の登録から利用までの流れと現状の状況は。

**答** 空き家バンクの登録等手続きについては、まず所有者から相談を受け、物件登録の申込み後に、建物の現地調査を行う。その後、空き家バンクに登録し、市のホームページに条件や間取り等の物件情報を掲載する。空き家を買いたい、あるいは借りたい方から相談があると、空き家バンク制度の趣旨や登録物件情報を理解の上、希望の物件があれば、所有者と立会いのもと、まず空き家の見学をする。さらに交渉や契約を進める場合は、不動産事業者の仲介により進めていく。なお、11月末時点で登録物件が11件、相談件数が63件（うち所有者が14件、利用者が49件）あり、契約成立物件が2件となっている。

**鳥獣被害対策**

**問** 猟友会による有害鳥獣の追い払いエリアの拡大やドローンを活用した追い払い業務の業務負担軽減、効率化のための管理道の設置についての効果や進捗状況は。

**答** 管理道の整備は、檻の管理における負担軽減等、その有用性について、猟友会からも指摘を受けており、平成29年度に、蜂屋地区において、地域住民による里山の維持管理にも活用するため、管理道を約600m整備した。この道を活用して、里山の中に、頻繁に人が出入りすることで、鳥獣の出没が少なくなったという声を聞いている。平成30年度は、山之上地区で管理道の設置を予定しており、今後も、里山の維持や有害鳥獣対策として、管理道を整備していきたいと考えている。



ドローンを活用した追い払い業務



市政一般に対する質問と答弁



前田 孝員  
議員

木沢記念病院建設

問 現在の進捗状況は。

答 着工予定は2019年8月、完成が2021年9月末、開院が2021年12月末の予定である。

問 地域住民に対する説明会の予定はあるのか。

答 平成31年1月から2月には、開催する予定である。

問 開院後、車両の通行量も増加が予想されるが、駐車スペースは、また、出入口は何カ所か。

答 患者及び健診者用、職員用を含めて約1,600台分のスペースを確保している。車両出入口は病院に3カ所、市民交流施設に2カ所予定している。

問 新病院周辺エリアに新商業施設も進出されるが、車両増加に伴う対策は。

答 周辺道路の渋滞を極力抑えるために交通規制を検討する。

問 新病院敷地内に「市民交流施設」が建設されるが、どのような施設が入所するのか。

答 調剤薬局以外にカフェ、パン屋、本屋等の店舗を検討している。

新庁舎建設

問 建設用地決定については、市民の意見を十分に聞いて市民合意のもと決定すること。

答 平成29年度までに、市民アンケートなど多くのご意見を聞いてきた。公募市民を交えた「新庁舎整備基本構想策定委員会」で審議し、「未来のまちづくり委員会」の意見を参考にして、市民の代表である議員と市長が最優先候補地を決定していく。

子ども・高齢者の防犯と交通安全対策

問 横断歩道のメロディー信号の設置数は。また、今後の設置予定は。

答 本市には、擬音式（カッコー・ピヨピヨ）が市役所東のコノミヤ前交差点など4カ所に設置してある。また、31年度に設置する予定はない。

問 「通学路カメラ設置協定」以後の状況は。

答 カメラの設置は、電柱に20カ所添架する方法で進めており、中電柱に添架する15基については、契約済みで平成30年12月末までに設置予定である。残りの5基については、N T T柱に添架するよう準備している。

問 カメラ設置補助金交付要綱や運用条例制定の予定は。

答 平成31年4月1日から施行できるように準備を進めている。



金井文敏員  
議員

風しん対策

問 本市の風しん対策の現状は。

答 本市では、小児の定期予防接種の一つとして幼児期に麻しんと風しんの混合ワクチンの2回接種を実施している。2回接種することで99%の抗体を獲得できる。1回目の接種率は、ほぼ100%であるが、2回目の接種が91・3%とやや低いのが課題である。

問 妊婦への影響は。

答 特に妊娠初期の妊婦が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが、目、耳、心臓などに病気をもち「先天性風しん症候群」にかかることがある。そこで、妊婦健診時に風しんの抗体検査の結果に応じて、風しんの罹患や予防接種歴のない妊婦に対しては、抗体検査を妊婦本人や同居家族に受けることを推奨し、抗体がなかった場合は家族が予防接種を受けるように伝えている。

問 39歳から56歳男性への重点対策は。

答 平成30年12月から岐阜県では、無料風しん抗体検査を、風しん抗体保有率の低い30歳以上60歳未満の男性を対象とした。市の

防災無線の難聴対策

問 今後の取り組みは。

答 難聴対策として、日ごろから文章を短くすることを留意しているが、確実に伝達できるように、今後もしも取り組んでいく。なお、防災行政無線の声を男女に分けることやBGMを入れることについては、今後の研究課題としていく。

イノシシ対策

問 本市のイノシシ被害の現状は。

答 平成29年度で約4,029万円となっている。

問 本市の取り組みは。

答 県の森林環境税を活用し、平成26年度から有害鳥獣のすみかとなる竹林等の整備を実施している。防除として、地域ぐるみで防除を実施する「ネット柵設置」や「電気柵設置」の推奨、平成28年度から猟友会による毎日のパトロール、サル発見時には追い払いを行っている。

問 今後の課題は。

答 今後は、里山整備と併せて、管理道の整備も実施する必要があると考えている。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

豚コレラ

**問** 本市における豚コレラの影響と対応は怎么样了か。

**答** 本市においては、現時点（12月11日）で、豚コレラに感染したイノシシは確認されていない。近隣では、可児市や坂祝町で捕獲されたイノシシや、八百津町で死亡したイノシシの感染が確認されている。

このような状況の中、今後、本市の野生イノシシへの感染は十分考えられるため、市内で捕獲したイノシシを移動させる際には、付近の消毒や移動手段等、細心の注意を払っている。

現在は狩猟禁止だが、有害鳥獣の捕獲については、県から指定猟法許可を受けている。猟友会の方々に対しては、豚コレラに伴うイノシシの捕獲及び搬入について、県から委託を受けており、手当が支給される。

養豚業者の方には、電気柵や消毒資材の支給や、定期的な調査を行っている。出荷の自粛、搬出制限や殺処分等による損失については、国や県等による損失に対する

補助があるが、市としては、防疫対策等も含め、関係機関とも連携して、全力で支援していきたいと思う。

農林業従事者への支援については、電気柵に加えて、平成29年度より地域で行う追い払いや、里山整備への補助項目の拡大、地域で行うネット柵設置への資材支給等、それぞれの事業を有機的に組み合わせて、事業全体として総合的に支援していきたいと考えている。



現地での豚コレラ対応の様子



牧田秀憲 議員

健康

**問** 健康への市民の意識などについて、どのように感じるか。

**答** 今年度の市民満足度調査において、「今後くらしの中で力を入れていきたいと思うことは何ですか」との問いに対して、「健康であること」が最も高く72・9%である。しかし、そのために健康づくりを実践している人の割合は低く、スポーツや運動を週3日以上実施している人は19・4%、週1〜2日以上実施している人は20・9%、運動をしなかったと回答した人は33・2%といった状況であった。健康意識はあるものの、行動が伴っていない状況にあると感じている。

**問** 平成30年9月から「健康ポイント事業」を開始し、31年度は「健康再出発年度」として、この事業の拡大をしていくとのことだが、どのように活用していくのか。

**答** 「健康ポイント事業」は、健康づくりの動機づけや継続につながる事業といった心身の健康のみならず、美濃加茂市の健康につな

がる一つの事業になるものと考えている。今後、庁内の関係課や市内事業所の協力を得ながら、この事業の推進を図っていく。さらに、市内3公園を健康軸にした活用について、庁内の関係課6課からなる「3公園で健康づくりを形にする検討会」にて検討している。平成30年度に、公園を活用したウォークイベントの開催も予定しており、健康ポイント事業としていく。さらに事業を進め、公園でのイベント事業を健康ポイントとすることで、公園の活用率を向上させると同時に運動の定着化を図りたい。

ポイント事業の実施により、市民の皆さんが健康に関心を持っていただくきっかけとし、楽しくポイントを集める中で個々にあった健康づくりを見つけ、継続していただけるように展開していきたいと考えている。



第5回ウォークのみかも〜ぎふ清流里山公園コース〜

市政一般に対する質問と答弁



片桐美良 議員

豚コレラ

**問** 本市における狩猟禁止区域、調査捕獲区域、有害鳥獣捕獲区域の区分は。

**答** 狩猟禁止区域は市内全域、県が調査捕獲を行う区域は主要地方道富加七宗線から南、それより北は、市が有害鳥獣駆除を行う区域となっている。

**問** 捕獲檻、罠の数と9月7日（豚コレラ感染の疑いが確認された日）からの捕獲数は。

**答** 捕獲檻は約40基、罠は約200カ所となっている。9月7日から11月末時点のイノシシの捕獲数は、51頭である。

**問** 市内の防疫体制と里山公園でのイベント開催の反省点は。

**答** 今回の事態を受け、イベント開催時には、細心の注意をもって取り組むよう今後の教訓にする。畜産農家には、市としても関係機関と連携し、全力で取り組んでいく。

**問** 関係者への損出補償は。

**答** 早急に対応するよう強く求めていくとともに、市としても関係機関と連携し、しっかりと支援していく。

**問** 県へ豚コレラ生ワクチンの許

可要請を。  
**答** 生産農家の声を十分に尊重して、県と協議しながら国への要請を行う必要があると考えている。

未来のまちづくり

**問** 公共交通の満足度を上げる方策は。

**答** 二つの地区を一つの路線として運行しているものを、1地区1路線で運行して、利用者の満足度を上げたい。

**問** コンパクトエリアへの居住誘導とサテライトエリアへの移住推進の整合性は。

**答** 市街地への居住誘導施策を計画する。サテライトエリアは各地域の拠点と位置づけ将来にわたり持続可能な拠点づくりを目指す。

**問** 商業ビルの平成20年から30年の改修の実績は。

**答** 計画に伴う実績は、約2億円である。

**問** 今後の商業ビルの改修費用の見込み額は。

**答** 今後30年間、現状の機能をそのまま維持すると、事後対応による保全型の場合では約47億円、予防保全型では約32億円と試算している。

**問** 商業ビルの今後のあり方についての考えは。

**答** 総合的に検討していく。



永田徳男 議員

選挙投票所の数の見直し

**問** 投票所を統廃合し、11カ所に減少したことが、投票率の低下の要因になっていないか。

**答** 投票率の低下は、全国的な傾向であると解釈している。国民の政治に対する関心の低下傾向、特に、若い世代の投票離れが大きな要因であると考ええる。平成30年1月の市長選は、インフルエンザの大流行、そして今回の市議会議員選挙については、台風24号の影響も大きかったと考える。

**問** 投票率を向上させる対策をどう考えているのか。

**答** 投票率の向上には、投票に行こうとする行動意識と、それを支える物理的環境を整えることが必要と考える。行動意識は、学校でも行われている「主権者教育」によって培われ、自分の投票行動により政治を変えようとする選挙人が増えていくことが理想であり、選挙管理委員会として、選挙に行こうとする方が、より良い環境で投票所までの交通手段の確保や投票しやすい環境整備を引き続き進める。

森山用水路

**問** 森山町3丁目から本郷町4丁目までの間の現在の森山用水の管理と現状把握は。

**答** 水路の損傷状況によっては、地域の方で対応していただいている。また、困難なものは、市へ要望をいただき、修繕が必要な箇所を順次対応していく。水路の現状把握は、行政のみでは非常に困難なため、地域の皆様からの情報により、確認をしている。

**問** 森山用水を今後どのように管理していくのか。また、遊歩道と農業遺産としての活用は。

**答** 森山用水は歴史的な資源であるため、市の貴重な財産と考えており、水路機能を維持し、地域の皆様の協力のもと、支援していく。



提案をした農業遺産としての森山用水と遊歩道

市政一般に対する質問と答弁



田口智子  
議員

リバーポートパーク  
(中之島公園)

**問** 市はリバーポートパークの指定管理費を年間約1,700万円を予算化しているが、管理運営費の使用先、事業計画、収支報告等は受けているか。

**答** 指定管理費約1,700万円の算定は、公園の運営管理に必要な管理責任者や会計責任者の人件費、HPやパンフレット作製費、施設の清掃、保守点検費、光熱費等費目ごとに経費を積み上げ、算出している。10月に中間モニタリングを実施し、適正に運営管理されているのを確認している。

小児インフルエンザの  
予防接種

**問** 子育て世代の強い要望である、小児インフルエンザの予防接種費用を助成する考えは。

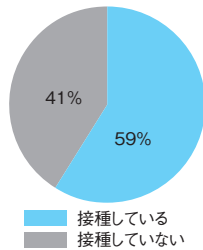
**答** 本市では現在、季節性インフルエンザの助成は実施していない。理由は、重症化予防の効果は大きいですが、感染を完全に阻止する効果は期待できないからである。しかし、軽症で済むという安心感が得られることも重要なことだと

思っている。今回のアンケート結果から予防接種は子育て支援であるという考えを基本に、限りある財源をいかに有効に活用していくか、経済面と健康面の両面からのサポート体制についてさらに研究していきたい。

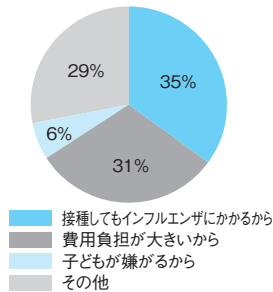
**問** 子どもに携わる職業従事者への予防接種助成の考えは。

**答** 子どもに携わる職業従事者へのインフルエンザワクチンの接種については、仕事の専門性から各個人が健康管理の一環として対応していただくことと、原則考えている。

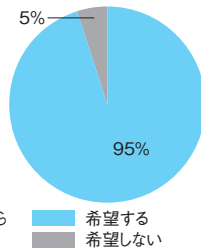
Q1. 子どものインフルエンザ予防接種を接種していますか。



Q2. インフルエンザ予防接種を接種していない理由



Q3. 子どものインフルエンザ予防接種の助成を希望しますか。



※田口議員が実施した「美濃加茂市内の私立幼稚園、保育園の保護者788人のアンケート結果」



坂井文好  
議員

自然災害と農業の現状・将来

**問** 台風被害で農家の継続意欲も低下しているが、保険、融資、行政補助等の支援は。

**答** 台風21号は、本市の農業にも大きな被害をもたらした。農作物や施設の被害に対しては、農業共済により損失が補填される。市として、被災農業者向けに、経営体育成支援事業による国の補助金に、市単独補助金を上乘せし、農業用施設等の修繕に必要な費用負担の軽減を図っている。加えて、農業者相互の支えあいも大切なことで、物心両面から支援していきたい。

**問** 出入国管理法改正に伴う外国人労働者の受入れ拡大は。

**答** 新たに2つの在留資格が創設された。農業分野に適応される資格は、在留期間5年、家族の帯同を原則的に認めない「特定技能1号」である。市内において、外国人労働者の受入れを検討している農家もあり、国の動向を注視し、外国人労働者が農業の担い手として従事できるよう、定住する外国人が多い本市の特色を生かした対策を検討したい。

**問** 関市では、障がい者施設に特産品の里手の農作業委託を拡大されているが、農福の連携は。

**答** 農福連携は、農業分野における障がい者の就労機会の拡大、農業者の人手不足の解消等双方にメリットがある。本市においては、山之上町の農家の事例がある。今後この取り組みが広がり、障がい者と農業者双方の課題が改善されるよう関係機関との連携を強化したい。

**問** 将来を担う若手農業者団体のみかもファーマーズとの協体制は。

**答** 深刻な高齢化と後継者不足を打開しようと、平成22年に市内の若手農業者が中心になり結成された。地域農業者の先導者として、また、将来の農業における可能性の体現者としての存在は大変貴重であり、今後も協体制を築いていきたい。

**問** ドローンによる農薬散布等、AI(人工知能)を使ったスマート農業の取り組みは。

**答** AI等を活用したスマート農業は、農業の効率化や安全性の確保、後継者の育成等を図る上で有効である。今後は農家が求めるニーズを把握し、その解決に地域企業も含め幅広い業種が連携する取り組みに対しては、全面的に支援していきたい。

市政一般に対する質問と答弁



渡辺義昌 議員

美濃加茂市公共施設等  
総合管理計画

**問** 公共施設の老朽化に伴い、今後、建て替え、大規模修繕、廃止等計画はどのように考えているか。

**答** 具体的な建て替えや大規模修繕、廃止等については、施設を所管する担当課が作成している、個別施設計画としての再配置や長寿命化計画で検討することとしており、こうした計画を適正に評価した上で、中長期的な財政見通し等を勘案して、判断していく。

**問** 保育園については、老朽化に伴い大規模な修繕がすぐにでも必要と考えるが、その計画は。

**答** 保育園は、施設と設備の老朽化が進んでおり、公共施設等総合管理計画に基づいた、公立保育園施設整備計画を策定し、建築年、耐震補強状



市立保育園の視察の様子

況、施設劣化診断等の調査結果などを考慮し、統廃合、複合化、民営化、建替えの優先順位を決定している。ただし、子どもの生命や健康に直接関わるような修繕、給食の調理に要する器具の修繕、買い替えに関しては、即時対応をしている。

**問** 総合管理計画と市債に対する考えは。

**答** 公共施設等総合管理計画では、公共施設等マネジメントの5原則の中で「健全財政」を掲げており、施設整備を行う際は、将来負担比率0%を堅持することを条件とし、市債残高の削減等により、健全財政を維持するとしている。

しかしながら、将来的な人口減少社会により、市税の減少等による歳入の減少や、少子高齢化の進展による社会保障費等の増加等、長期的には、市債は増加していくものと予測される。

こうした中、引き続き持続可能な都市経営を行っていくためには、公共施設等適正化のための3大方針・5原則により、公共施設の総量縮減や統合・複合化、あるいは民間活力の積極的な導入等を一層進めながら、健全財政の維持を念頭におき、施設整備を進めていきたいと考えている。

議会日誌 (主なもの)

11月	12月
11月1日 由良町との連携協定調印式	12月2日 美濃加茂軟式野球連盟年度末総会
11月2日 美濃加茂市・富加町中学校 組合議会 定例会 (富加町)	12月30日 市議会第4回定例会 (美濃市)
11月3日 全国環境整備事業協同組合 連合会大会 (岐阜市)	12月29日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会 市功労者表彰式
11月4日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会 在岐阜モロッコ王国名誉領事館開館式及び美濃加茂国際交流協会新事務所開所式	12月29日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会 市功労者表彰式
11月5日 中濃十市議会議長会 議員研修会 (各務原市)	12月28日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会 市議会第4回定例会 (美濃市)
11月7日 地方自治連絡協議会 (岐阜市)	12月28日 市都市計画審議会
11月8日 双葉中学校創立50周年記念式典 (富加町)	12月29日 美濃加茂軟式野球連盟年度末総会
11月9日 新庁舎建設特別委員会	
11月10日 FMららラジオ番組出演 (みのかも市民まつり会場)	
11月15日 可茂地域市町村議会議長会 議員研修会	
11月17日 PTA研究発表 & 子どもをたくましく育てるつどい	
11月18日 朗読フェスティバル	
11月19日 多文化共生推進協議会	
11月28日 議会運営委員会	
11月29日 中濃地域農業共済事務組合議会 定例会 (関市)	
11月29日 洞戸川辺間主要地方道改良整備促進期成同盟会 通常総会 (美濃市)	
11月30日 市議会第4回定例会 (美濃市)	
11月31日 市議会第4回定例会 (美濃市)	
12月1日 新庁舎建設特別委員会	
12月13日 中濃法人会要望受領	
12月15日 市体育協会懇親会	
12月17日 市高齢者施策等運営協議会	
12月21日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会	
12月22日 西体育館完成記念式典	
12月25日 可茂地域一部事務組合議会 定例会	
12月26日 議会だより編集委員会	
12月28日 消防団年末夜警巡視	
12月31日 新庁舎建設特別委員会	
12月31日 中濃法人会要望受領	
12月31日 市体育協会懇親会	
12月31日 市高齢者施策等運営協議会	
12月31日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会	
12月31日 西体育館完成記念式典	
12月31日 可茂地域一部事務組合議会 定例会	
12月31日 議会だより編集委員会	
12月31日 消防団年末夜警巡視	
12月31日 市職員仕事始め式	
12月31日 消防出初式・新春消防友の会	
12月31日 議会だより編集委員会	
12月31日 美濃加茂商工会議所創立記念	
12月31日 美濃加茂防衛協会美濃加茂支部役員及び女性部新年互礼会	
12月31日 美濃加茂青年会議所新年式典・新年会	
12月31日 堂上蜂屋柿茶会	
12月31日 みのかも成人式	
12月31日 議会改革特別委員会	
12月31日 行政視察 (16日)	
12月31日 堂上蜂屋柿振興会品評会	
12月31日 地方議会研修会 (岩倉市)	
12月31日 議会だより編集委員会	
12月31日 市健寿連合会 新年互礼会	
12月31日 議会改革特別委員会	
12月31日 岐阜県加茂防衛協会新年会	
12月31日 美濃加茂市未来のまちづくり委員会	
12月31日 新丸山ダム転流工トンネル部 貫通報告会 (御嵩町)	
12月31日 可茂地域町村行政懇話会及び行政懇談会	
12月31日 岐阜県市議会議長会議 (土岐市)	

## 議会改革特別委員会を設置しました。

第4回定例会において議会改革特別委員会を設置し、正副委員長を互選しました。

### 〈目的〉

市民に分かりやすく、質の高い議会運営を行うとともに、議会情報を積極的に提供するため、数ある改革項目の中から優先順位を付け順次、調査・研究を行うため。

### 〈委員構成〉

委員長：森 弓子      副委員長：金井 文敏  
 委員：永田 徳男   田口 智子   村瀬 正樹  
          坂井 文好   前田 孝



### 議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいたご意見を掲載します。

- ・市民の要望に対する具体的な対策案や計画を聞くことができ、美濃加茂市の取り組みや課題について少しではありましたが知ることができて良かったです。

- ・初めて傍聴させて頂きました。議員の方、職員の方の日々の活動の大変さを確認できました。市政・行政に対する意見は沢山あります。市の方、議員の方との話し合いの機会があれば参加したいと思いました。また傍聴させて頂きたいと思っています。

- ・一般質問通告者の名前を午前、午後に決めた方が傍聴者としては良い。

- ・行政が良く分り、今後もぜひお聞きしたいと思っております。興味を持った質問が沢山ありました。市の発展（例えば駅前商店街の発展、昔のライン下りなどの観光面）の質問が少なかったと思われれます。

- ・今日も多くの新しい傍聴者の方々が見えて嬉しく思います。質問の内容も現在ニュースなどで報道されている豚コレラの件が取り上げられ、市内における状況を知り得たことも良かったと思います。また、新しい市庁舎構想の今後の流れも知り、次第に期待の高まりを感じます。

## 精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書

障害者基本法において、精神障がい者は、身体障がい者及び知的障がい者と同じ障がい者として定義されており、障がい者の自立のための支援策として、社会参加や就労、雇用の促進が図られている。こうした中、多くの精神障がい者が、医療機関への通院や障害福祉サービス事業所への通所など、日常生活や社会参加のための移動手段として、公共交通機関を利用している。

一方、公共交通機関等では、障がい者向けに各種の運賃割引制度が実施されているが、対象者は身体障がい者及び知的障がい者に限定されていることが多く、精神障がい者にとって経済的な負担となっており、自立や社会参加を促進する上で大きな課題となっている。

よって、国におかれては、精神障がい者についても、身体障がい者及び知的障がい者と同等の運賃割引制度が適用されるよう、公共交通事業者に対して働きかけを行うなど、必要な措置を講じるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月20日

岐阜県美濃加茂市議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣

# 可決された意見書

**Q** 意見書とは？

**A** 市の公益に関することについて、国会や国、県などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことをいいます。

# 活動 ピックアップ

## 常任委員会委員で現地視察を行いました

10月18日開催の第1回臨時会において企画建設常任委員会、文教民生常任委員会の委員構成が決定し、各委員会が所管事務に関する現地視察を行いました。

### 企画建設常任委員会 (10月25日)

#### ■ 森山浄水場

取水場の状況を視察



#### ■ 上野配水池

断水対策について施設を視察



#### ■ 信友造成地

進出企業誘致の状況を視察



#### ■ リバーポートパーク美濃加茂 (中之島公園)

被災状況及び施設の概要を視察



### 文教民生常任委員会 (10月26日)

#### ■ あい愛バス

新バス車両 (33人定員) を視察 (乗車)



#### ■ 市民活動サポートセンター・国際交流協会・モロッコ王国名誉領事館

駅前則竹ビルへの移転の状況を視察



#### ■ 伊深小学校

タブレットを使ったIT授業を視察



#### ■ 可茂聖苑新火葬場

工事が進む新火葬場を視察



# 活動ピックアップ

## 議会改革特別委員会で行政視察を行いました。

議会改革特別委員会では、改革を推進するに当たり、先進地の取り組み状況を学ぶため、三重県の市議会を訪問しました。

1月15日には鳥羽市議会の「広報公聴委員会の設置とTOBAミライトーク」について、翌16日には四日市市議会の「議会の活性化・議会の透明化」等についての取り組み状況を中心に学びました。今後、美濃加茂市議会でも調査・研究し、具体化していきます。



鳥羽市議会



四日市市議会

### 編集後記

平成最後の議会だよりとなった今号は、昨年の12月議会を中心にお伝えします。市議選が9月に終わり、10月の臨時会において委員会構成が決定し動き出しました。12月議会は新人3人を含む各議員が様々な角度から精力的に一般質問を行いました。

間接民主制の議会は、住民の負託に応じて活動しております。議会の意思決定機能は重要であります。議会だより編集委員会は、市民に親しみやすい紙面を心がけて情報発信に努めてまいります。

金井 文敏

次の定例会の予定  
平成31年市議会第1回定例会

- 2月26日(火) 初 日
- 3月6日(水) 一般質問
- 7日(木) 一般質問
- 8日(金) 一般質問
- 11日(月) 質 疑
- 20日(水) 最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場  
時間：午前9時から  
(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 今号から新たな編集委員が 編集を行いました。

### 議会だより編集委員

- (中央左) 委員長：森 弓子
- (中央右) 副委員長：金井 文敏
- (左から) 田口 智子 酒向 信幸 渡辺 義昌 永田 徳男



### 第4回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、  
加茂農林高校園芸流通科3年生の  
生徒さんに作っていただきました。

次の議会だよりは、2019年5月  
1日を予定しています。

ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見・アンケート）、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。